

咲き誇る桜、子ども達の輝く笑顔  
ワクワクが広がる新年度に

第21回

杉岡 誠 村長の  
**愛楽故郷味**  
あいらくふるさとみ



4月は桜を堪能いたしました。村役場からほど近い伊丹沢地区の「飯館復興三千本の桜」は、年々有名になっています。村でも公式LINE(アカウント名「飯館村」/アカウントID @itirate\_village)や公式インスタグラム(アカウント名 e|village|life|itirate)で、日々の開花状況を発信していましたが、テレビでの全国生中継やJ.R.東日本のツアーなどと相まって、大変多くの方々がお越しくださいました。多くの皆さまに愛される「待ち遠しい」桜スポットになっています。

新学期が始まり、いいたて希望の里学園や、までの里のこども園にも元気な声が響き渡っています。お子様は村の宝です。ワクワク楽しみながら、新年度もお友達と沢山遊び、遊び、健やかに成長されることを願っています。

飯館村独自の子育て応援・支援施策も、ぜひ有効にご活用ください。

村では現在、「地域おこし協力隊」を2つの形で募集しています。名称は「起業型(フリーミッション型)」と「企業雇用型(パートナードリブ型)」です。

フリーミッション型は、隊員自らが提案する個人起業に向けての構想を『村が採用して隊員に委託する』手法で、これまでマーケティング(図倉倉庫)、山の向こうから、工房マートル、コーヒーパーアハウス(コーヒーマスターの食堂)、洋菓子ブランドコチットなどの活動に繋がっています。

また村独自のパートナードリブ型は、『地域の事業者さんに雇用される方を村が隊員として承認』し、村内の企業・事業者様と一緒になって地域おこしに邁進していただく制度となります。村としても、企業・事業者様としてもウインウィンとなるよう、地域おこしの活力となる担い手を育てていきます。

多様な形態での活動が、飯館村の地域おこし協力隊の魅力であり、豊かな気風の源泉となっています。今後も多くの方々に、その活動事例をお示ししていきたいと思っております。

いよいよ来春のオープンに向けて、旧Aコープ跡地での公設民営型「商業施設(株式会社ハシドラック様)」の工事が始まりました。7月には、きこりの隣に新しい研修施設(宿泊棟)がオープンします。また蔵平地区の「飯館みらい発電所」も本格稼働します。

今後も、皆さまのワクワクに繋がる取り組みを深めて参ります。

■ ひとのうごき

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の名前	行政区
菅野 晴くん	佳祐さん 彩夏さん	比曾

HAPPY BIRTHDAY! 🍀

ひとのうごき 令和6年4月1日現在

人口	今月(前月比)	3月1日~31日までの人口動態
●男	2,332人(-22)	転入 6人
●女	2,276人(-30)	転出 49人
計	4,608人(-52)	出生 0人
世帯数	1,802戸(-15)	死亡 13人
(住民基本台帳人口)		

(3月21日から4月20日までに届け出のあったものを掲載)  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

おくやみ

氏名	年齢	行政区
上田 哲夫 さん	81	草野
菅野 宗光 さん	95	草野
菅野 ミツ さん	94	比曾
星 志保 さん	96	上飯樋
佐藤 キヨノ さん	93	大倉
佐藤 スミイ さん	87	関根・松塚
高橋 一成 さん	64	関沢
菅野 貞子 さん	92	佐須

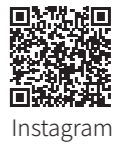
ご冥福をお祈り申し上げます 🌸

3ど  
いいたての暮らしをつなぐステーション

「いいたて移住サポートセンター」の愛称が決まりました。『3ど』は、村民と移住希望者をつなぐ場所。移住に関すること、飯館村のこと、さまざまな情報を発信していきます。どなたでも、どうぞ気軽にお立ち寄りください。



飯館村伊丹沢字伊丹沢578番地1(までいな家)  
☎0244-68-2850 ※電話番号も新しくなりました  
平日午前9時~午後5時30分※土日祝日は予約制  
✉ iju@iitatelife.jp



村民広報委員 富士男の  
ちょっと寄り道 ①



田んぼの思い出!!

とうとう春になって、とうとうこの飯館村にも色々な花が咲き誇り、カエルの鳴き声のする田植えの季節になりました。昔を想ってみれば、懐かしい田植え仕事の情景が浮かんできます。田んぼの仕事は朝早く、4時や5時頃から始まります。中でも苗引きは、水がとて冷たく、時々手を休めながらだったという話も聞きます。植える時期が集中してしまうので、もちろん家族だけでは人手が足りず、隣近所、本家、分家、知人など、みんなでの共同作業で行う「結い!」でした。調べてみると、結いとは「結び合う、一結にまとめる」とあります。昔の人、否、現在も互いに心を通じ合い、一緒に事をまとめ合う事がいかに大切な事であるかと思い、そして信じていたいと思っています。

話を戻せば、朝ご飯を食べて、ここからが本番の田植えです。薄く水を張った苗代には縦30cm横15cmにすじ引きがされていて、そこに苗を丁寧に植えていくのです。

秋に豊かに実った稲穂が風に揺れて綺麗に見えるのはその為だろうと思います。子ども達も苗ぶちとして手伝います。昼食はみんなで輪になって食べて、長靴をはいたままの人もいたような気がします。

小昼食(こじはん)も楽しみの一つでした。田植えが終われば馬鍬洗(まがれ)をしてひと息ついて、暑い中田車をかけて、家族全員での稲刈りをして、脱穀ともみすりをして藁を片付けて、やっと本当の収穫です。どんなにか根気のいる仕事で、どんなにか大変な作業続きたらろうと思います。

でもそれも懐かしく、1年を通しての喜びだったんだと思います。懐かしいと思うのは、大震災を経験してそんな情景を見る事ができなくなってしまったせいなのだろうか?これから子ども、孫達が、ふる里の風景を大事に、大切に想えるような、そんな飯館村であってほしいと信じ願っています。

